

光陵学園の学校教育目標

光陵中ブロック（光陵学園、さくらんぼ学園）でめざす子ども像

感謝と思いやりの心を大切に自立する子

光陵学園の学校教育目標

支えあう 分かちあう 高めあう

支えあう

子どもたちの年齢や発達、特性を互いに認め、補いあえる態度や関係を築く。

分かちあう

困難や苦労は分担したり、成果を一緒に喜んだりできる共感的な態度や関係を築く。

高めあう

互いに切磋琢磨しながら強みを伸ばし、弱みを克服する態度や関係を築く。

目指す学校像

- ・生活体験や活動を重視した思い切り体を動かせる学校
- ・温かで活力に満ちた明日また来たいと思える学校
- ・お互いの持ち味を生かしたひとりひとりが輝ける学校
- ・個性を尊重し認めあう、誰とでも仲良くできる学校

目指す児童・生徒像

- ・授業に自分から進んで取り組み、将来の夢の実現に向けて努力する子
- ・仲間と支えあい、競いあう中で自立した考えをもつ子
- ・基本的な生活習慣を身につけ、自己の心身を大切にする子

目指す教職員像

- ・子どもたちが学びたくなる授業をするために常に研鑽に励む教師
- ・10年後、20年後の子どもたちの人生のために、正しいことや間違っていることを伝えられる教職員
- ・子どもたちの心の扉に温かく寄り添える教職員
- ・互いに支えあい、励ましあい、尊重しあえる教職員
- ・それぞれの使命と責任を理解し行動できる教職員

○ 令和8年度の重点努力目標（みつば小）

1 確かな学力の定着

- わかる喜びや、学ぶ楽しさが実感できる授業を目指し、指導方法の工夫・改善に努める。
- 独自教科「みらい」の学習を通して、現代社会で求められる資質・能力の育成に努める。
- 「読み・書き・計算」といった学習の基礎となる力の育成に努める。

2 豊かな心の育成

- 「はっぴいタイム」での学びを基盤とした、円滑で安定した人間関係の構築を目指す。
- 感謝や思いやりの気持ちが自然に言葉に出せることや、「お互い様」と感じられるような関係性や環境の構築を図る。
- 多様な人たちとの交流を通して、協力・協調することのよさを知り、自他を大切にすることを育む指導の充実を図る。
- 道徳科を中心に学校教育全体で道徳教育を推進を図る。

3 地域に開かれた学校

- 地域の人・もの・こととのふれあいの充実を図る。
- 瀬戸特別支援学校との交流や協働的な学びの充実を図る。
- コミュニティ・スクールを軸に地域住民（保護者を含む）と学校の相互支援関係の構築を図る。

4 働きやすい職場、活力ある教職員集団の形成

- チームや仲間で協働し課題を解決していく組織の醸成を図る。
- 「ワクワク」の気持ちを大切に、気軽に挑戦する意識の醸成を図る。
- 教職員間の円滑なコミュニケーションがとれる環境と時間の創出を図る。
- 学校と各種機関との連携の強化を図る。
- 市教委の業務量管理・健康確保措置実施計画を踏まえ、教職員の業務負担軽減と健康確保に向けた取組を進める。